

るが、通気性がやや劣り発根がやゝ早くヌケが見られた。

3. アスパラガス栽植密度について

1. 背景と特徴

産園面積の広い東北地域に多く栽培されているが、永年作物であり収穫始めまで2年以上を用し、生育期間が長い割合には生産量が少ない。は種後2年目までは短根ニンジン、レタスなどを間作しているところが多い。

このようなことから初期から高い収量をあげるために、10a当り3,703株、7,406株、11,109株を入れては種後2年目から3ヶ年間密植栽培により初期から高い収量が得られた。

3,703株では収穫1~2年目まで高い収量が得られたが、11,109株では収穫2年目は高い収量であったが、3年目になると3,704株のものと同等の収量であった。しかし、密植栽培が初期から高い収量が得られるので参考資料に供したい。

2. 試験成績の概要

1) 試験課題名 アスパラガス栽植密度

2) 試験年次および場所 昭48~50年 岩手県園芸試験場本場

3) 試験方法

(1) 供試条件

① 畦巾 180 cm	株間 15 cm	1 条は種	10 a 当り 3,703 株
② "	"	2 "	" 7,406 "
③ "	"	3 "	" 11,109 "

(2) 供試品種 カリフォルニア500

(3) 面積および区制 1区32.4m² 2区制

(4) 耕種概要

は種期 47年4月25日 直播 条間20cm フィルムマルチ(95B穴なし)使用 2年目から裸地

施肥量 県耕種基準による。

3. 主要成果の具体的データ

第1表 生育(枯葉期 10.8 m²当り)

項目 試験区	48年10月24日			49年10月30日			50年10月28日		
	草丈cm	茎数本	茎径cm	草丈cm	茎数本	茎径cm	草丈cm	茎数本	茎径cm
① 3,703株	152.4	449.0	0.57	178.6	344.0	0.72	192.8	428.0	0.91
② 7,406 "	154.3	816.9	0.51	169.8	564.2	0.69	185.2	468.6	0.90
③ 11,109 "	151.1	938.4	0.61	167.7	558.2	0.73	187.9	517.0	0.85

第2表 年次別収量

1) 48年

(1) 収量(10a当りkg)

項目 試験区	全重	太さ1cm以上		太さ1cm未満		合計	
		本数	調整重	本数	調整重	本数	調整重
① 3,703株	49.0	398	5.8	5,064	33.2	5,462	39.0
② 7,406 "	50.5	384	6.0	7,652	44.4	8,036	50.4
③ 11,109 "	56.5	297	4.1	9,693	52.5	9,990	56.6

(2) 収量比

項目 試験区	全重	太さ1cm以上		太さ1cm未満		合計	
		本数	調整重	本数	調整重	本数	調整重
① 3,703株	100	100	100	100	100	100	100
② 7,406 "	103.1	96.5	103.5	151.1	133.7	147.1	129.2
③ 11,109 "	115.3	74.6	70.7	191.4	158.1	182.9	145.1

2) 49年

(1) 収量(10a当りkg)

項目 試験区	全重	太さ1cm以上		太さ1cm未満		合計	
		本数	調整重	本数	調整重	本数	調整重
① 3,703株	493	11,730	245	14,878	141	26,608	386
② 7,406 "	660	14,457	284	24,428	222	38,885	506
③ 11,109 "	722	13,628	262	34,764	304	48,392	566

(2) 収量比(%)

試験区	項目	全重	太さ1cm以上		太さ1cm未満		合計	
			本数	調整重	本数	調整重	本数	調整重
①	3,703株	100	100	100	100	100	100	100
②	7,406 "	133.9	123.3	115.9	164.2	157.5	146.1	125.9
③	11,109 "	146.5	116.2	106.9	233.7	215.6	181.9	142.8

3) 50年

(1) 収量(10a当りkg)

試験区	項目	全重	太さ1cm以上		太さ1cm未満		合計	
			本数	調整重	本数	調整重	本数	調整重
①	3,703株	792	24,351	454	24,814	153	49,165	607
②	7,406 "	885	25,370	477	36,018	204	61,388	681
③	11,109 "	900	25,972	469	40,254	229	66,255	698

(2) 収量比(%)

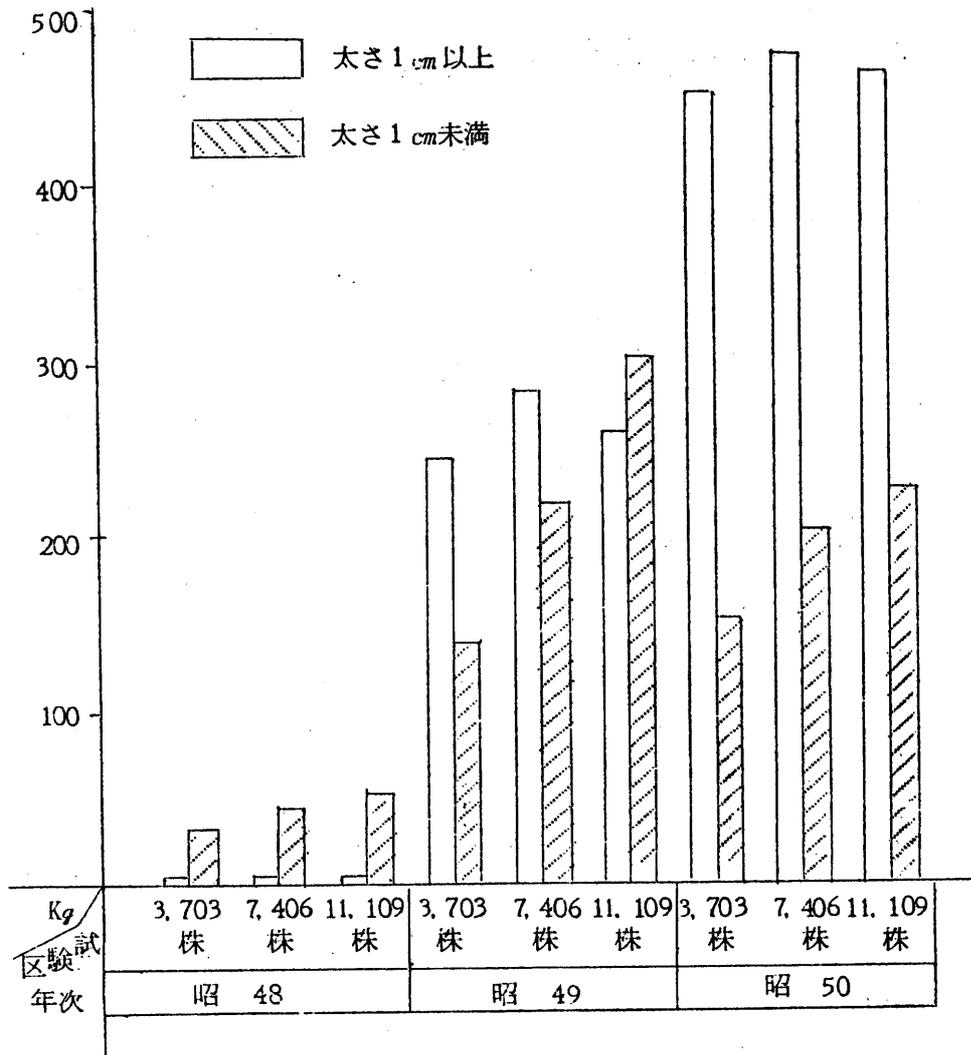
試験区	項目	全重	太さ1cm以上		太さ1cm未満		合計	
			本数	調整重	本数	調整重	本数	調整重
①	3,703株	100	100	100	100	100	100	100
②	7,406 "	111.7	104.2	105.1	145.2	133.3	124.9	112.5
③	11,109 "	113.6	106.7	103.3	162.2	149.7	134.8	115.0

第3表 3ヶ年間収量(10a当りkg)

試験区	項目	昭48			昭49			昭50		
		1cm以上	1cm未満	合計	1cm以上	1cm未満	合計	1cm以上	1cm未満	合計
①	3,703株	5.8	33.2	39.0	245	141	386	454	153	607
②	7,406 "	6.0	44.4	50.4	284	222	506	477	204	681
③	11,109 "	4.1	52.5	56.5	262	304	566	469	229	698

累 計			累計収量 比 %	累計1cm以 上収量比%
1cm以上	1cm未満	合 計		
705	327	1,032	100	100
767	470	1,237	120.0	108.8
735	586	1,321	128.0	104.3

第1図 年次別収量推移(10a当りkg)



摘 要

1. 生育 枯葉期草丈、1年目は差は見られなかったが、2～3年目は①3,703株区がまさり②7,406株区、③11,109株区はやや低い草丈であった。

茎数、1年目は株数が多くなるに従い多くなったが、2年目は②7,406株区が多かった。3年目は株数が多くなるに従い多くなった。茎径、1～2年目は株数に

よる差は判然としなかったが、3年目では株数が多くなるに従い細くなる傾向が見られた。

- 2 収 量 太さ1 cm以上の収量は1～3年目まで② 7,406 株区がまさり、③ 11,109 株区、① 3,703 株区の順であった。

太さ1 cm以下の収量は各年次とも株数が多くなるに従い多くなった。合計収量でも同じ傾向が見られた。

- 3 要 約 以上の結果、太さ1 cm以上の収量は② 7,406 株区がまさり、③ 11,109 株区は① 3,703 株区と同等の収量であった。太さ1 cm以下の収量および合計収量においても株数が多くなるに従い多くなる傾向が見られた。